

2025

京都産業大学

神山の絆

学長対談

産龍、語る。

よきライバル、そして共創

京都産業大学 × 京セラ株式会社 × 株式会社フォトクロス
共同開発する反射望遠鏡

サッカー部 × 空手道部 × ラグビー部
主将対談

K60th

2025年 創立60周年を迎えました。

LINE登録
募集中!

京都産業大学 在間 敬子 学長

イノベーションにつながる力を
誰もが備えておくべき時代

Profile

在間 敬子・ざいまけいこ
1961年生まれ 大阪府出身
京都大学大学院経済学研究科
博士後期課程修了
博士(経済学)京都大学/
博士(工学)東京工業大学
2024年10月より京都産業大学学長



野球部応援用新ユニフォーム

「産龍戦」と「龍産戦」 その変わらぬ価値と可能性

在間 伝統ある「産龍戦」をはじめ、貴学と交流し、競い合う場があることに、改めて心より感謝いたします。

安藤 同感です。特に野球の「龍産戦」は、個人的に思い入れが強いイベントです。

在間 以前、チアリーダー部と話したところ、貴学のように野球応援用ユニフォームが欲しいという意見があり、創立60周年を機に揃えることになりました。

安藤 その効果か、残念ながら春の「龍産戦」は本学の負けに終わりました(笑)。ただ、この「龍産戦」というコンセプトをうまく使えば、野球以外でも多様な交流ができと思っています。

在間 本学経営学部の森口ゼミと、貴学経営学部の太田ゼミによる「知の産龍戦」もその一環ですね。

安藤 素晴らしい取り組みです。少子化が進む中、大学間では志願者の獲得競争などシビアな面もありますが、こうした交流の中で個性や魅力を出し合うことは、それぞれが「選ばれる大学」になる上でも非常に重要な意味をもつと考えています。

これからの大学が 果たすべき使命とは

在間 本学の創立以来の使命は、「将来の社会を担って立つ人材の育成」にあります。人材像は時代ごとにアップデートしてきましたが、創立60周年を迎えた現在、「Be Innovative.」を掲げ、革新性を備えた人材の育成を目指しています。基礎的な資質と能力の上に、AIなどの新しい技術や知識を正しく使える力を備え、より自律的、主体的に社会で活躍できる人材を育てることが目標です。

安藤 非常に共感できるお考えです。本学が掲げるのは「『まごころ〜Magokoro〜』ある市民を育む」という方針です。世界、地域に存在する社会課題を見つけ、その解決に向けてともに歩む。そんな市民を育むことで、新たな知と価値の創造を図り、あらゆる「壁」や「違い」を乗り越えて世界の平和に寄与するプラットフォームになることも、大学に与えられた重要な役割です。

在間 目指す大学の姿には共通する点も多くありますね。さらに、社会において先進的な取り組みを学生に見せることも、大学が果たすべき役割です。

安藤 その意味では、貴学は「DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)」に積極的に取り組まれています。本学もぜひ倣いたいと考えています。

在間 DE&Iについては、タスクフォースを設置し、学内の課題を徹底的に抽出することから取り組みました。とはいえ、誰もが安全安心に学び、働ける大学をつくるためには、人権の面を含めて取り組むべきことは多く残されています。

安藤 なるほど。学生から見れば我々が最も身近な社会のロールモデルです

学長対談

産龍、語る。

よきライバル、そして共創

ら、本学でも理事の女性比率向上を含め、積極的に取り組んでいます。

学環・学部を新設 未来を創る人材育成

安藤 本学では2027年に「環境サステナビリティ学部」と「情報学部」(いずれも仮称)を新設する予定です。「環境サステナビリティ学部」は、環境と経済をトレードオフの関係ではなく総合的に捉えようとする文理融合的な学部であり、その意味では在間先生のご専門分野(環境経営論、環境情報システム)に大いに合致する学部でもあります。

在間 何らかの形でお役に立てることがあればぜひお声がけください。

安藤 ぜひよろしくお願いいたします。一方の「情報学部」は、高い倫理観をもって情報を扱う専門人材の育成を目的にしています。仏教の精神を基盤に据える龍谷大学らしい、地に足の着いた情報学部にしたいと考えています。

在間 倫理観については本学の創設者荒木俊馬も重視し、現在も学生が身につける力の1つに定めています。その点からも大いに期待しています。本学でも「文化学部」の再編を行い、安藤先生のご専門分野である日本古典文学を含めた人文学と、デジタルを組み合わせた学びも提供します。人文学とデジタルにはイメージの乖離があるかもしれませんが、様々な資料がアーカイブ化され、パブリックコンテンツとして活用されるようになった現在、デジタルの力は現在と過去を結びつけ、新たな発見を生み出す原動力になると考えています。

安藤 非常に楽しみです。2026年4月からは「アントレプレナーシップ学環」も新設されると伺いました。

在間 はい。文部科学省が新たに「学環」という仕組みを認めたことで、今後はより分野横断的な学びが可能になります。「アントレプレナーシップ学環」は経営学部と法学部、現代社会学部の学びを組み合わせたいと考えています。ここにアントレプレナーシップを育成するための自己開拓型ゼミや社会・産業界との連

携による教育を組み合わせ、少人数の実践的な学びを重んじます。「起業家精神」と訳されることの多いアントレプレナーシップですが、その本質はイノベーションを起こすための考え方や行動力にあり、今後は誰もが備えておくべきものです。

安藤 予測困難な時代になるほど、与えられた問いに答えるだけでなく、課題そのものを見出し、問いを立てる力が大切です。そこを育むという点も、両学に共通していますね。

卒業生の存在、 そしてそのつながりがもつ意味

安藤 これまで貴学が約16万5千人、本学が約22万5千人の卒業生を輩出してきました。大学が多様な価値や存在を育む森であるなら、卒業生は森を支える土壌にあたる、不可欠な存在です。

在間 おっしゃる通りです。「産龍戦」にも毎年多くの卒業生が応援に駆けつけ、また同窓会などでお会いした際も温かいお言葉、忌憚のないご意見を頂戴します。母校に対する愛情や期待を感じるたびに、気が引き締まる思いです。

安藤 また、各方面で活躍されている卒業生の存在は、在学生にとって何よりの励みであり、希望でもありますね。

在間 はい。本学の学生がコミュニケーション能力に長け、成長力があると企業の方から高く評価されるのも、卒業生の皆様のおかげです。一方で、同窓会などの組織に若い世代の卒業生がなかなか参加されないという課題もあります。

安藤 本学も同様ですが、農学部の開設10周年を機に、新たに農学系の職域支部がつくられるかもしれません。こうした動きが活発になれば、若い世代の参加が進むと期待しています。

在間 「タイパ」「コスパ」を重視する若い世代は、同窓会に参加することにメリットを感じにくいかもしれませんが、同窓生とのつながりは非常に大きな意味をもつはずです。ぜひ一人でも多くの卒業生の皆さんに、母校、後輩たちの存在に目を向けていただきたいと思います。

龍谷大学 安藤 徹 学長



Profile

安藤 徹・あんどうとほる
1968年生まれ 岐阜県出身
名古屋大学大学院文学研究科
博士後期課程修了
博士(文学)名古屋大学
2025年4月より龍谷大学学長

多様な価値を育む大学「森」を
「土壌」となって支える卒業生

京都産業大学 × 京セラ株式会社 × 株式会社フォトクロス

COLLABORATION

共同開発する 反射望遠鏡

京都産業大学は、セラミック材料のリーディングカンパニーである「京セラ」、光を使った高度な加工・測定技術を有する「フォトクロス」と包括協定を結び、反射式天体望遠鏡の心臓部ともいべき主鏡や副鏡にセラミックを用いた世界初の大型望遠鏡の開発に乗り出しました。宇宙産業への参入を見据えた、大きな一歩となるプロジェクトです。

Profile

河北 秀世 ・かわきた ひでよ
理学部 宇宙物理・気象学科 教授
神山宇宙科学研究所 所長

大阪府出身。中学卒業後、大阪府立工業高等専門学校(電気工学科)で5年間学び、磁性体の測定機器製作を卒業研究とする。その後、京都大学工学部(情報工学科)に3年次から編入、同大学院工学研究科(修士課程・情報工学専攻)を経て、シャープ株式会社へ就職し、パソコンの開発業務に携わる。社会人になってから趣味で彗星の観測研究を開始し、公開天文台で観測や研究を実施、1998年に群馬県立ぐんま天文台に転職。2005年から京都産業大学・理学部。近年では2014年に日本地球惑星科学連合より西田賞を受賞。

京都から宇宙をめざして… 三者の叡智を集めたモノづくりが始動

“世界初”の期待を背負って 生まれ変わる荒木望遠鏡

荒木俊馬先生の“建学の精神”を具現化したシンボルである「神山天文台」。施設内には、宇宙物理学者である荒木先生の名を冠した「荒木望遠鏡」が設置され、国内の私立大学で最も大きな望遠鏡として知られています。

そして今、天文学研究の発展に寄与してきた荒木望遠鏡が、本学と京セラ株式会社、京都発のスタートアップ企業である株式会社フォトクロスの三者の力を結集し、“世界初”の反射式天体望遠鏡として生まれ変わろうとしています。

「これまでも本学では産学連携により、星の光を分析する装置など、望遠鏡に関連する光学機器の共同開発を進めてきました。その中で、『望遠鏡の部品の一部をセラミックにすればどうか』というアイデアが飛び出したのです」

そう話すのは、神山宇宙科学研究所長(理学部 宇宙物理・気象学科)の河北秀世先生。宇宙ビジネスへの参入をにらんだ、この壮大なプロジェクトの中心メンバーの一人です。

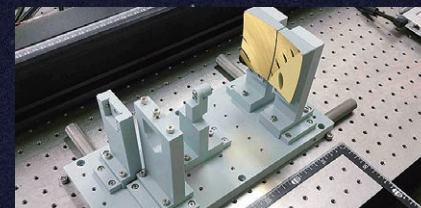
ちなみに反射式望遠鏡は、レンズの代わりに主鏡(しゅきょう)と呼ばれる鏡を使って光を集めます。人間が星を観察する時には、最終的に接眼レンズを使いますが、基本的には鏡を組み合わせで作られています。このタイプの望遠鏡は、主鏡の直径が大きければ大きいほどより遠くの暗い天体まで見ることができます。しかし、そこにはさまざまな課題がありました。



ファインセラミックスの実物に触れながら学ぶ学生

世界と戦うF1の レーシングチームのように

「荒木望遠鏡の主鏡は直径1.3mありますが、通常、天体望遠鏡用の主鏡にはガラス系の材料が使われます。ただし、ガラスはもろく割れやすいため、大きな鏡を作るとなるとどうしても分厚く重くなってしまいます。そこで、硬くて丈夫なセラミックを代用できないか考えたのです」
今回、白羽の矢が立ったのは、京セラ



ファインコージライトを用いた光学機器

が開発したファインセラミックスの一種である「ファインコージライト」。周囲の温度変化に対して伸び縮みといった変形がほとんど皆無のうえ、ガラスよりも強度があり、またガラス同様に精密な加工・研磨が可能といったメリットがあります。

「非常に硬くて丈夫な材料ですから、余分な厚みをそぎ落として軽量化することが可能です。また、望遠鏡の主鏡にセラミックを用いるのは、口径1m以上の大型望遠鏡では世界初の試みです」

一方、荒木望遠鏡の主鏡や副鏡の加工を一任されたのは、“光のよろず屋”を標榜し、光を使った精密測定を得意とするフォトクロス。1mmの1000分の1レベルの測定・加工技術を持つといい、ファインコージライトの精密研磨を担当します。

「よく誤解されるのですが、精密研磨は加工技術と測定がセットでないとできません。肉眼では見えないズレや凸凹を光によって測定し、緻密に細かく削っていく。それがフォトクロスのテクノロジーです」

こうして京都を拠点に一流の知見や技術を有する三者のプロジェクトが立ち上がりました。この取り組みを河北先生は“F1のレーシングチーム”と同じ目線で捉えています。

「たとえば、F1用のエンジンに一般車に搭載することはありません。しかし、『我々はやるうと思えばここまでスゴいモノを作れるんだ』というポテンシャルのアピールになる。まるでF1レースのように世界と本気で戦うには、私たち研究者も、材料メーカーも、加工を担う技術者も、一流でなければなりません」

その先に見据えているのは、宇宙ビジネスへの参入です。地球上にいる限り、過酷な環境下でも機能し、極限まで軽量化した望遠鏡の開発は不要かもしれませんが、しかし、いつか宇宙へ飛び出すことを念頭に、細やかなブラッシュアップを続けているのです。

宇宙ビジネスへの推進力が 京都産業大学の大きな強み

本学は荒木俊馬先生が開学されて60年、伝統的に天文学研究に力を注いでき

ました。理学部の宇宙物理・気象学科がまさにそれで、ビッグバンやブラックホールなど、人類の手の届かない遠い宇宙の研究に本学科では取り組んでいます。

「その一方で、天文学研究には望遠鏡や光学機器などのモノづくりが必要です。そして、モノを作るには材料の性質を徹底的に知っておくことも大切。硬さはどうか、電気は通るか、どんな加工ができるのか…。そのベースにあるのが物理学で、本学では理学部の物理学科が該当します。宇宙に関わるモノづくりは、ロケットや人工衛星といった人類の手の届く領域にあるものです。京都産業大学には、遠いところから身近なところまで、宇宙を包括的に研究できる素地が備わっています」と河北先生。

しかも、それだけではありません。2023年に設置された「神山宇宙科学研究所」を筆頭に、経営学部や情報理工学部の先生方の知見も借りて、宇宙ビジネスの推進にALL京産大で取り組んでいます。



京都から宇宙産業を発信する 産業クラスターをつくりたい

また、今回の産学連携をきっかけに、共同研究実験室を10号館に開設しました。こちらではオープンラボ形式で、企業の技術者と本学の研究員が生の対話を通してイノベーションを生み出そうとしています。

「ゆくゆくは学生にも入ってもらい、企業の方から実社会のモノづくりを学んでほしいですね。予算や納期といった制約がある中で、どこまで高い性能を追求できるかも技術者の腕の見せどころです」

さらに本学では、宇宙ビジネスへの参入をめざす京都の中小企業で結成された「京都航空宇宙産業ネットワーク」と包括協定を締結しました。この協定の背景には、モノづくり都市・京都の強みを共有し、地元の企業や他大学まで巻き込んだ産業クラスターを構築するというねらいがあります。「京都から宇宙産業を発信し、京都をもっと盛り上げる」。それが河北先生のビジョンです。



体育会サッカー部 主将
経済学部経済学科 4年
徳若 碧都

体育会空手道部 女子主将
経営学部マネジメント学科 4年
武田 桜花

体育会ラグビー部 ゲームキャプテン
国際関係学部国際関係学科 4年
伊藤 森心



サッカー部 × 空手道部 × ラグビー部

主将对談

自己紹介と今年のチーム紹介をお願いします。

徳若 サッカー部主将でGKを務める徳若です。2025年は京都FA杯優勝と関西学生サッカー選手権準優勝、天皇杯でも2回戦に進出しました。今年のチームは学年問わず仲が良く、ときには厳しく言い合うこともあり、コミュニケーションが活発です。試合では控え選手も含め、相手によって多様な戦術を使い分けられる点が強みです。

武田 空手道部女子主将の武田です。今年は西日本大学空手道選手権大会の女子団体組手で準優勝、個人では関西学生空手道個人選手権大

会で私を含む3人が優勝しました。空手道部も仲が良く、年下の選手が年上の選手に教え合ったりすることもあるくらい、風通しの良いチームです。楽しくやる時と、しっかり集中する時のメリハリをつけられることも、今年のチームの特徴です。

伊藤 ラグビー部ゲームキャプテンでフランカーの伊藤です。2025年の主な成績は春季トーナメント準優勝です。スター選手が集まるチームではないので、京産大ラグビー部の伝統である「ひたむきで泥臭いプレー」を大切にしています。

リーダーとして心がけていることは？

伊藤 入学当初からゲームキャプテンになった今まで「自分が一番しんどいことをやる」という意識が変わったことはありません。試合に出る機会のない同級生を含め、チーム全員から信頼を得るためには、練習や試合で誰よりもハードワークする姿勢を見せることが不可欠です。

武田 私も、今年は全日本団体3連覇がかかっているんで、女子主将として強い責任感をもつようにして

います。同時に、昨年からチーム編成が変わり、経験の少ない選手が半数以上を占めるので、下級生がのびのびとやれる環境をつくることも意識しています。

徳若 サッカー部では今シーズン「共有」というキーワードを掲げています。主将としてはチーム全体に関わることを意識しており、たとえばカテゴリーで起きた問題でも、チーム全体の問題としてとらえ、皆で解決を目指すようにしています。

これまで最も印象に残っているシーンは？

武田 男子主将が怪我で離脱したことは本当に衝撃的でした。でも、良くも悪くもそこからみんなに自覚が生まれ、「男子主将に戻ってきてほしい」という思いでチームの団結力がぐっと高まったんです。

徳若 私は昨年のインカレ初戦が最も悔しい思い出として残っています。先輩たちと戦う最後の公式戦、前年のリベンジを懸けて戦うインカレ初戦で、ラスト7分からの

逆転負け。自分も試合に出場できず、このときの悔しさが今のモチベーションになっています。

伊藤 私は昨年の関西リーグ関学戦、廣瀬監督になってから初めて関西で黒星をつけられた試合です。自分なりにハードワークし、チームを鼓舞したつもりが力及ばず。自信満々のチームが鼻を折られた時の雰囲気は忘れられないし、同じ失敗は二度としたくありません。

チームの歴史やOB・OGの存在をどう捉えている？

武田 女子空手道部は、先輩方の活躍のおかげで「日本一のチーム」として見られています。試合内容だけでなく、会場での振る舞いも含めて、その名にふさわしいチームでありたいと思っています。OB・OGの方々は、試合の応援だけでなく、練習でも熱心に指導してくださり、本当にありがたいと感じています。皆さんの存在が、私たちの原動力になっています。

伊藤 ラグビー部OBには、日本代表で活躍されている選手もおられ、昨年プロの道に進んだソロモネ・フ

ナキ選手や辻野 隼大選手も応援に駆けつけてくださるなど、とても励みになり、また心強い存在でもあります。皆さんが残したレガシーやカルチャーに感謝しながら、ひたむきにラグビーに取り組んでいきます。

徳若 サッカー部でも、プロで活躍する食野 壮磨選手が差し入れをくださるなど、OBの皆さんから手厚い支援をいただいています。チームに受け継がれてきた伝統や歴史をしっかりと受け継ぎ、自分たちなりに新しいものを加えて、日々成長し続ける姿をお見せしたいと思います。

日本一に向けた意気込みをお願いします！

徳若 夏と冬にある大会で日本一を目指します。現在はリーグ戦の中断期間のため（7月中旬時点）、公式戦ができないのですが、自分たちにベクトルを向け、一日ごとに具体的な目標を定めながら、日本一に向けて全力を尽くします。

武田 空手道部も同じで、一日一日を大切に、ベストを尽くし続けることが日本一への鍵です。11月の最後のインカレ団体戦では女子三連覇、男女アベック優勝を必ず勝

ち取ります。

伊藤 目標は関西Aリーグ優勝、その後の大学選手権で日本一を獲ることです。例年より強いチームではありませんが、春の京都ラグビー祭で明治大学に勝利できたことが自信につながっています。「ONE」というスローガンのもと、一丸となってチーム力を高め、昨年果たせなかった関西一、そして日本一にチャレンジします。

リーダーとして工夫／苦労している点は？

伊藤 ゲームキャプテンは強いプレッシャーにさらされる立場でもあります。一つひとつのプレーに一喜一憂せず、泰然とした態度を貫くことが、チームを勝利に導く上でも大切だと感じています。

武田 同感です。そのうえで、チームをまとめる努力も大切。そのためには綿密な連携が必要で、男女の主将だけではできないことも多いので、いかに後輩た

ちを巻き込んでいくかを考えています。

徳若 サッカー部でも、チーム全員が同じベクトルを向くことは簡単ではありません。プロ志望もいれば、大学で競技生活を終える者もいますから。それでも皆の目線を合わせて戦うために、チームの向かうべき方向、あるべき姿の「共有」を意識しながら、チーム全体を一つにしていくことが重要なんです。

LINE 友だち登録者募集！

今なら期間限定特典 があります！



LINE登録をいただいた方は、期間限定で、体育会ラグビー部、サッカー部、空手道部の学生が制作したショート動画を、ご覧いただけます！
期間は2025年11月30日まで。

※友だち登録後、「受信設定」より「卒業生」を設定頂くと、メニューが表示されます。



経済学部

功刀ゼミ発! 京都の知られざる 魅力MAP

詳細はこちら



経済学部 功刀祐之ゼミの学生たちが、京都市都市計画局歩くまち京都推進室と協働し、左京区北部山間地域(別所・花脊・広河原)の魅力を伝える「バス旅MAP」を制作しました。地域住民の方々や京都バス株式会社、株式会社iHistoryの協力のもと、「地域のバス路線維持充実」という社会課題にゼミ生の視点で挑戦しています。

このMAPは、京都バス32系統で巡ることができるエリアのおすすめスポットを紹介するもので、歴史や自然、文化に触れながら、まだあまり知られていない京都の魅力を学生目線で再発見。フィールドワークを重ねながら地域の方々に丁寧に取材し、温かみのあるものに仕上がりました。

MAPはデジタル版での公開に加え、沿線地域でリーフレットも配布。卒業生の皆さんも京都を訪れる際にはぜひ手に取って、学生たちの成果を感じてください。



経営学部

学生が創る 経営学部 「CMプロジェクト」

リアルな
経営学部
ちゃんねる



学生が企画から制作まで全てを手掛ける「CMプロジェクト」を実施しています。今年で6回目の開催となります。今年は本学と包括連携協定を結んでいるソフトバンク株式会社から課題をいただき『「LINE」と「60」で伝える大学生活!』をテーマにCM動画制作に取り組みました。作品はWEBでご覧いただけます。



※経営学部では「学生のリアル」を届ける学生広報スタッフとして「マネスタ」が誕生しました。彼らの情報発信を是非ご覧ください。



公認会計士、税理士試験等の合格

経営学部独自の奨励金を設け、例年、資格取得者を奨励しています。また、経営学部では、会計資格取得を目指す学生のために、アカウンティング部会を設け、専用の勉強スペースで教員の指導の下、勉強に励んでいます。

詳細はこちら



法学部

法学部 田村 正博教授が 「警察大学校名誉教授」の 称号を授与されました!

田村正博教授が、2025(令和7)年3月7日に警察庁長官から、警察大学校名誉教授の称号を授与されました。これは、「警察に関する学術及びその運用について特に功績のあった者」に対して贈られる称号で、警察法施行規則67条に規定されています。この称号が授与されたのは、1965(昭和40)年に本制度が発足してから史上8人目で、20年ぶりとなります。田村先生のコメント等はWEBからご覧ください。

詳細はこちら



文化学部

文化学部の学生が、 葵祭路頭の儀において 「斎王代輿丁役」を 務める

令和7年5月15日(木)、文化学部京都文化学科開講の「京都文化演習」(担当:笹部 昌利准教授)の受講生の中から、男子学生8人が、葵祭路頭の儀に参加しました。文化学部笹部ゼミは、2018年より行列の中心で主役といえる斎王代を担ぐ「輿丁役」への参加、奉仕を行っています。文化学部では、このほかにも祇園祭の鉾運営への参画や清水寺での南部風鈴飾り付けと法要・式典のお手伝いなど、学生たちは京都でしかできない貴重な体験とおして、文化、伝統に触れ、学びを深めています。2026年4月には学部のリニューアルを行い、新たに文化構想学科、京都文化学科、文化観光学科の3学科となります。今後の活動にもご期待ください!



現代社会学部

「綾部こども探偵」から 始まる、小さな探究者と 学生の成長!

現代社会学部 滋野浩毅教授ゼミでは、京都府綾部市の地域課題に取り組む活動を、長年にわたり行っています。地域での調査活動だけでなく、地域の子どもたちや地域の皆さんと協働しながら、未来につながる事業を創出しています。

特に注目すべきは、3年前にゼミ生が企画・運営した「綾部こども探偵」プロジェクト。学生が地元小学生とともに地域を歩き、身近な場所の魅力を発見していくこの取り組みは、子どもたちの地域への愛着を育むだけでなく、自治体との連携のもと、今では綾部市との定例事業として根付き、さらなる発展を続けています。

学生が単なる学びとしてではなく、地域の一員として「当事者性」を持って関わること。実践を通じて課題を発見し、解決に向けて試行錯誤するプロセスは、地域への貢献を生み出すと同時に、学生自身にとっても大きな成長の機会となっています。



外国語学部

YouTube 京産 外語チャンネル

YouTube「京産 外語チャンネル」は、「語学や異文化交流の楽しさを伝える」ことを目的とし、語学習得のコツや学習方法、海外留学の体験談など、役立つ情報を配信するチャンネルです。語学、異文化に興味がある卒業生の皆さん!チャンネル登録よろしくお願いします!



詳細はこちら



理学部

「金星のことがら京産大/理学部」宇宙物理・気象学科安藤紘基准教授が 「令和7年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰」 において「若手科学者賞」を受賞しました

文部科学省が2025年(令和7年)4月8日(火)に発表した「令和7年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰」において、「電波掩蔽法と数値モデルを用いた金星大気の研究」の業績により、「若手科学者賞」を受賞しました。安藤准教授の研究成果は、最先端の観測データと精巧な数値モデルを融合して金星大気の大規模な運動・雲形成を包括的に論じた先進的なものであり、汎惑星気象学構築の先駆けになると期待されています。

詳細はこちら



国際関係学部

植原ゼミナールが 「いけてるゼミ」としてリクルート ワークスの記事に掲載されました!

植原洋教授ゼミは、単なる企業訪問では終わらない。学生たちは企業訪問時に海外展開プランの提案をしたり、京都海外ビジネスセンターの海外進出・為替動向調査を行いビジネスセミナーで発表するなど、国際ビジネスの現場での視座を重要視しています。国際関係の専門知識を土台に、理論と実践の融合を地で行く圧倒的にアウトドアなゼミです。今回は、リクルートワークスから注目ゼミとして選定され、取材を受けました。

詳細はこちら



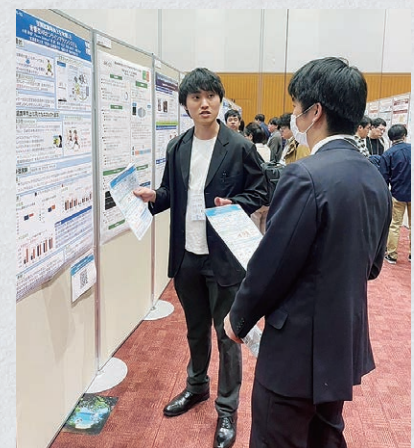
情報理工学部

共創チャレンジ プログラムが始動!

詳細はこちら



情報理工学部・先端情報学研究科の上級生のすぐれたデジタル制作・研究活動に下級生が参加し、チームとして対外発表を行う取り組みを支援する「デジタル制作・研究共創チャレンジプログラム」が2024年度から始動。デジタルものづくり、アプリケーション制作等の発表イベントやコンテスト等への出展、学術団体主催の専門学会や研究会、公募シンポジウム等での研究発表など、本プログラムを利用したチームでの活動が進行中です。



令和7年度
科学技術分野の
文部科学大臣表彰
表彰式
文部科学省



生命 科学部

高橋研究室の学生らが みなべ町の世界農業 遺産の梅林で生物 多様性の調査開始

和歌山県みなべ・田辺地域の伝統的な農業「梅システム」は、世界農業遺産(GIAHS)にも認定された貴重な文化・自然資源です。生命科学部・高橋純一准教授の研究室では、梅林に集まる生き物の多様性を調べ、生態系サービス(送粉・害虫制御・土壌形成など)がどのように梅の生産を支えているかを明らかにする研究を行っています。この調査は、学生と地元自治体・ボランティアの協力による参加型調査(市民科学)として、2025年5月から毎月実施されています。さらに、夏休みや冬休みには地元の小中高校生との生き物観察イベントも予定されており、地域を舞台にした実践的な学びが広がっています。また、この活動は紀伊日報2025年6月4日夕刊にも掲載され、地域からの注目も集めています。

このプロジェクトを通じて、学生たちは科学的視点だけでなく、地域との関係性や持続可能な農業の在り方も学んでいます。卒業生の皆さまにも、ぜひ彼らの成長と挑戦にご期待いただければと思います。



調査メンバー(高橋研究室の学生、みなべ町職員、梅農家、ボランティアの方たち)

アントレプレナー シップ学環

新学部相当の アントレプレナーシップ学環 が2026年4月に始動！

ビジネス
さあ、未来の話をしよう。

社会を探求するだけに飽き足らず、アイデアをカタチ(ビジネス)にすることに挑戦したい！そんな本気の学生に応える教育が誕生。アントレプレナーシップ教育の実績、経営学部、法学部、現代社会学部の優れた教育資源を結集して、新学部相当の「学環」を開設(入学定員30名)。事業創造に没頭する4年間の学びで、学士(ビジネス)を取得します。

詳細はこちら



アントレプレナー育成プログラム受講生

がっかん 学環とは

学士号を授与する学部相当の教育課程を、複数の学部の教育資源を結集して、新たに編成する「学部等連係課程」。分野横断の学びに最適な大学教育の新しいカタチです。学問を環のようにむすぶことから、「学環」と呼びます。

Life Hack! 日常をより快適にする話題をお届けします。

卒業後、 体重が右肩上がり ——それ、自然なことかもしれません

大学卒業から10年…かつての面影が失われてしまった…という方も少なくないのではないのでしょうか。実はこれ、あなただけの話ではありません。国民健康・栄養調査によると、肥満(BMIが25kg/m²以上)は成人男性では30歳代から増加し30～35%の割合、成人女性では40歳代から増加し20～25%です。この肥満の増加は、単なる食べ過ぎの結果と結論づけられませんが、歳をとるごとに筋肉や臓器などが少しずつ減少すると、それに伴って基礎代謝量が低下し、その低下は1日の消費エネルギー量に大きく影響します。基礎代謝量の加齢による低下の一般的な目安は10年で1～2%とされており、食事からのエネルギー摂取量が変わらなければ、この分のエネルギーの余剰分として、体脂肪は10年で1～2kgほど増加する計算になります。つまり、歳とともに体重が増えるのは“自然な加齢現象”といえます。

でも、心配はいりません。最近の研究では、痩せているより、BMIが22～24.9kg/m²の“ややしっかり体型”の方が長生きの傾向であることが分かってきました。加齢で体重が増えるのは自然なこと。大学生の頃のシャープな体型をキープできないことを嘆く必要はありません。目指す体型を、若い頃の体型から年相応の健康な体型にシフトするのもよいのではないのでしょうか。

しかし、“自然な加齢現象”とは言えないほど体重が増加してしまった場合には、減らさなければなりません。体重が増えるということは、消費エネルギーより摂取エネルギー量が多い状態が続いているということです。体重を減らそうとするときの注意点は、“極端に減らさないこと”と“続けること”。欠食や過度な食事制限で減った体重の多くは筋肉です。筋肉が保有しているエネルギー量は1kgあたり約1,000kcalであるのに対し、体脂肪は約7,000kcal。つまり、食事を減らすことで短期間に体重が減った場合には、それは筋肉の減少による可能性が高いです。体脂肪は少しずつしか減りません。急激な減量はリバウンドの要因になります。1日に200～300kcal分、例えば晩酌の量を減らすことや、甘い飲み物やお菓子を控えることを2か月継続すれば、体脂肪は約2kg減らせれます。揚げ物を食べる頻度を減らしたり、つい食べ過ぎてしまうことを控える程度でも、ゆっくりではありますが、体脂肪の減少につながります。“自然な加齢現象”を味方につけて、無理なく賢く、健康な体重を保っていきましょう。

執筆者紹介

松島 佳子

〔現代社会学部 健康スポーツ社会学科 教授〕

【専門分野】スポーツ栄養学、時間栄養学。運動パフォーマンスを高めるためにどのような食事が必要か、自分の体内時計に適した食事タイミングはいつか、その食事内容やタイミングで運動パフォーマンスやコンディションがどう変わるかを研究しています。



NEWS

お知らせ一覧

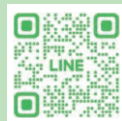


京都産業大学
公式アカウント

LINE友だち登録者募集中！

本学では、クラブ・サークル情報や、参加可能なイベント、大学の最新の取り組みを紹介した動画などを、随時発信をしていますので、卒業生の皆さまの友だち登録をお待ちしています。

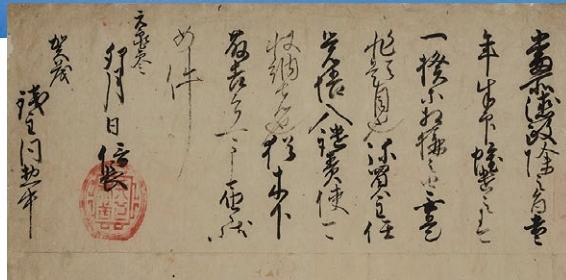
※友だち登録後、「受信設定」より「卒業生」を設定頂くと、メニューが表示されます。



京都産業大学ギャラリー

10月20日(月)～12月6日(土)に特別展「重要文化財 賀茂別雷神社文書の世界—その歴史・文化・修理—」を開催します。上賀茂神社と共催で、修理が終わった重要文化財の古文書を中心に、住友財団の助成を受けて展示をします。源頼朝や織田信長、豊臣秀吉の古文書も展示します。この他、年2回の所蔵品展では、京の商家にまつわる民具や美術品など、身近な文化財を紹介します。みなさまのご来場をお待ちしています。

京都産業大学
ギャラリー



「織田信長朱印状」(賀茂別雷神社蔵)

ホームカミングデー

11月1日(土)～11月3日(月・祝) 神山祭と同時開催

1日目 11月1日(土)

11:00～12:00 第一部：開会式
学長挨拶、講演会、全学応援団の演舞等

12:15～13:15 第二部：交流会
教職員、卒業生が集まり、楽しく交流会

- 内容に関しては、今後変更になる可能性があります。
- 参加は事前申込制となります。

2日目・3日目 11月2日(日)・3日(月・祝)

課外活動団体やサークル、ゼミナールなどの懇親の場としてご利用いただける教室の貸出を行います。また、喫茶コーナーも予定しております。



※詳細は改めてWebサイトにてお知らせいたします。

京都産業大学の魅力をお届けする1日！ 京都産業大学DAY

10月4日(土)愛知県、11月9日(日)東京にて、講演会、学修・進路説明会、交流会を行う京都産業大学DAYを開催いたします。また、10月11日(土)本学会場では、講演会を開催いたします。詳細、申し込みはWEBからご覧ください。

開催日	開催場所
10月4日(土)	東海会場(愛知県) @名古屋ガーデンパレス
10月11日(土)	本学会場(京都府) @京都産業大学
11月9日(日)	関東会場(東京都) @第一ホテル東京

お申し込みはこちら



京都産業大学DAY 中国会場(広島県)

ここがポイント！ニュースの解説 ハテナの探究

「ハテナの探究」は京都産業大学が運営するニュース解説チャンネルです。ニュースで話題になっているものの、メディアでは詳しく説明されていないこと。科学研究や歴史など、幅広い分野で多くの人は知らないけれど、知っているとならぬ世の中のことがよくわかることなどをテーマに各研究分野の研究者(教員など)が分かり易く解説していきます。



ご支援をお考えの皆さまへ 募金事業(京都産業大学 教育振興資金)のご案内

本学では、皆様からいただいた寄付金を教育内容の充実、奨学金制度の充実、教育研究施設・設備及び環境の整備、課外活動の活性化及びその施設の整備、図書の充実、国際交流の促進などに活用させていただきます。

また、用途を指定した寄付として「KSUクラブ応援募金」、「起業家学生支援」、「現代社会学部次世代型リーダー育成支援金」、「古本募金」があります。本年(2025年)は、本学が創立60周年を迎える節目の年となります。この節目となる年に、卒業生の皆様にも改めてご支援をお願いいたします。

募金事業
サイト



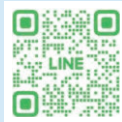
アンケートプレゼント企画

「神山の絆」について、卒業された皆さまからのご意見をいただきたく、アンケートを実施します。アンケートにご協力いただいた方を対象に、抽選で合計100名様に景品をプレゼントいたします。アンケートの内容は、興味のあった記事や新たなコンテンツのご希望など、約3分程度で完了します。応募はLINEに登録いただきメニューからご応募ください。

※友だち登録後、「受信設定」より「卒業生」を設定頂くと、メニューが表示されます。

応募期間

2025年10月26日(日)まで



本学は2025年、創立60周年という節目を迎えました。

これまでに16万5千人を超える卒業生を社会へと送り出し、それぞれの道で活躍されています。

その原点を振り返ると、60年前の第1回卒業式において、総長が卒業生に贈った言葉があります。

そこには、若者たちへの深い信頼と未来への熱い願いが込められていました。

本号では、記念すべきその言葉を改めてご紹介いたします。

荒木俊馬総長の言葉

諸君！

或いは失礼ながら諸君は

入学の時には雀であったかも知れない。

然しながら今この卒業式を最後に

学窓から広い現実世界に羽ばたきして行く諸君が、

今や決して唯の雀でない事を私は信じて疑いませぬ。

(中略)さすれば、諸君が本学を忘れる事なく、

機会あれば必ず本学を訪問される事、

つまり里郷りをされる事でしょう。

その度毎に本学は更に発展し完備しているでしょうが、

諸君もまたその都度、

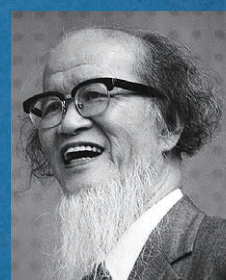
決して附和雷同、曲学阿世の青白きインテリではなく、

逞しい、或いは孔雀に、或いは鷹に、或は隼に、

そして遂には鵬にまで成長した其の姿を

私のこの眼に見せて貰いたいのであります。

「第一回卒業式祝辞」(昭和44年3月20日)



創設者
荒木 俊馬 先生
(1897～1978)